

件名 防災・脱炭素を同時実現するための公共施設に対する P P A モデルでの太陽光発電・蓄電池・省エネ設備導入に係る調査事業	令和 5 年 2 月 1 5 日 環境部 環境課
--	-----------------------------

## 本事業は、みらいのこさい提案制度※による提案事業

※ 社会情勢の変化に対応し、市民サービスの向上、先進事例の導入、財政負担の軽減及び事業の効率化を推進していくことを目的として、市民が抱える課題等に対し民間からの提案を柔軟に取り込み、市政に反映していくための制度

### 【実施事業者】

株式会社 アドバンテック

### 【実施事業】

「防災・脱炭素を同時実現するための公共施設に対する P P A モデルでの太陽光発電・蓄電池・省エネ設備導入に係る調査事業」

- ・公共施設への太陽光発電設備の導入により、平時の自家消費による脱炭素化の実現と災害時の電気使用可能によるレジリエンス強化を図るため、施設の状況を調査し、導入検討に必要な資料を作成する。

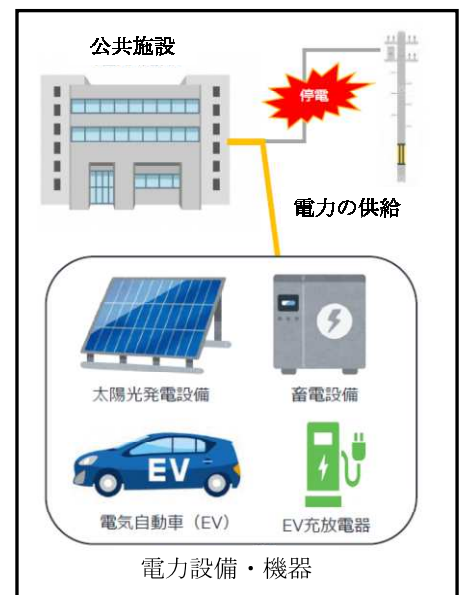
### 【調査概要】※この調査に対する湖西市の費用負担はない。

#### ○現地調査

- ・屋根種の確認
- ・屋根の防水の確認
- ・屋根の計測
- ・キュービクルのトランスの容量、中の確認
- ・新設設備の設置場所の検討
- ・ケーブル経路の確認  
(太陽光～パワーコンディショナー～キュービクルまで)
- ・各種設備の擬態的な運用方法
- ・稼働時間のヒアリングなど

#### ○その他調査

- ・電気主任技術者との打合せ



## 【スケジュール】

	R5/1	2	3	4	5	6	7	8
調査施設の選定・調整	←→							
調査施設の決定			● ※(株)アドバンテックによる手続き					
国補助金（申請・審査・決定）			←→					
調査実施						←→		
調査完了報告								●

## 【その他】

- ・ 調査結果を活用し、PPAモデルによる太陽光発電設備等の導入により、公共施設のカーボンニュートラルとレジリエンス強化の推進を図る。

## PPAモデル

- ・ 需要家の屋根や敷地に太陽光発電システムなどを無償で設置・運用して、発電した電気を需要家自身が購入、PPA 事業者はその使用料を支払うビジネスモデル。
- ・ 初期費用、保守メンテナンスなどの維持費は、基本的には発生させずに電力コストの低減が期待できるというメリットがある。
- ・ まずは湖西市内の数ヶ所の公共施設を対象に PPA モデルを実証的に導入し、効果等について検証しつつ、徐々に横展開を図っていく。

以上